



相生市議会だより

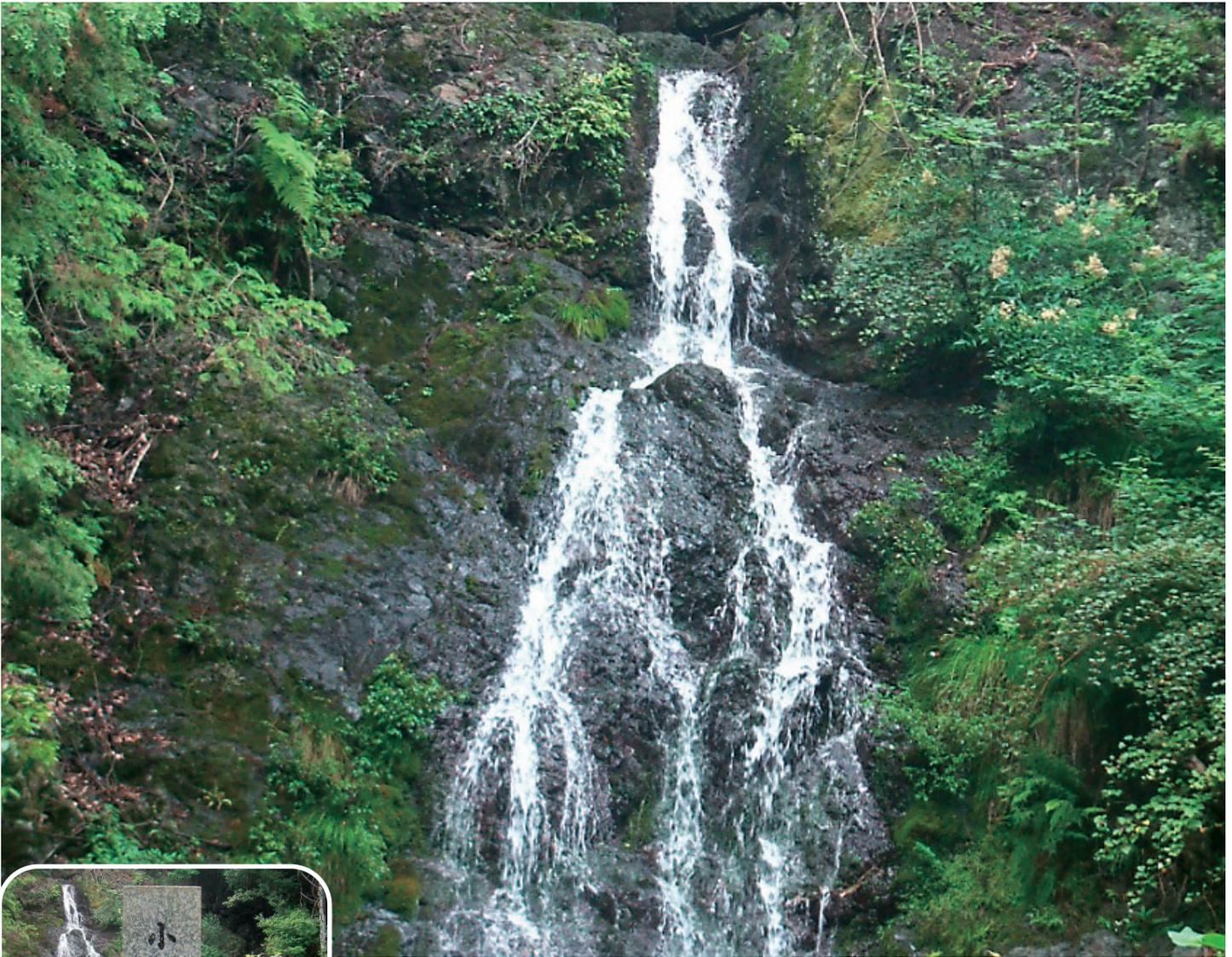
第 94 号

平成 21 年 9 月 10 日

発行：相生市議会 <相生市旭一丁目 1 番 3 号

☎ 23—7122 >

編集：議会報編集委員会



北峯の滝 (矢野町小河)

六月議会から

六月定例市議会は、六月九日から六月十八日までの十日間にわたって開会されました。

今期定例会では、報告四件、条例改正一件、補正予算一件、選挙一件、人事案件一件、請願一件、意見書一件を審議し、すべての案件は、可決、承認等されました。その主なものは六ページにまとめました。

一般質問は、九名の議員が行い、市当局の現状、方針等考え方をただししました。その概要については、二〜五ページにまとめました。

六月議会 一般質問

子どもの教育と貧困
について
安室ダム水道用水
供給企業団負担金
について

いわさき 岩崎
おさむ 修

問 就学援助の受給率は、赤穂市は十三％台で、相生市は五・七％である。

答 本市の就学援助制度の適用は、担任教師や民生児童委員の判断に任されている。これに、十分にこの制度が活かされているのか。積極的な広報等を行わない理由および対象世帯が把握できるとする理由は何が。

答 就学援助が必要である世帯の把握は、担任教師が行い、併せて民生児童委員や福祉事務所と連携し、情報の収集に努めています。

児童生徒のことは、先生方が十分把握しているため、学校現場が主体で判断し運用しています。このため、制度の積極的な広報は行っていません。

問 今後、就学援助制度の積極的な周知と運用を求めるがいかがか。

答 現時点では、今の方法を続けたいと考えています。

問 安室ダムの負担金は、毎年六千万円以上へのぼり、今回、機器更新など維持管理の負担まで求められ、市の財政上も大きな負担となっている。

答 負担軽減の取り組みは、どうなっているのか。



安室ダム

答 安室ダム水道用水供給企業団として、副知事に、一、機器の更新に係る負担の免除、二、維持管理費に係る負担割合の見直し、三、地方債の借換措置の三点について要望しています。今後とも負担軽減について、赤穂市、上郡町と連携を密にし、取り組んでまいります。

林業の再生について
みやくさ 宮
まき 木

問 相生市の間伐が進まない理由と市としての取り組みは。

答 市の森林面積六千八百八ヘクタールの内、植林された人工林は六百ヘクタールです。

しかし、間伐された山林は、ほとんどないのが現状です。

これは、林業従事者が少ないこと、間伐材の搬出等に多額の経費がかかること、杉や檜が少なく雑木が多いことが考えられます。

今後、県産木材流通の

大規模拠点として宍粟市に建設中の県産木材供給センターに搬出できるよう、相生市森林組合など関係機関と協議していきます。

問 木材チップを環境対策燃料として販売すれば雇用にもつながると考えるがどうか。

答 費用対効果の面からも現状では非常に難しいと考えますが、国が緊急雇用対策の一環としてこの事業を検討中でありますので、相生市も参入できるよう積極的に要望していきます。

札制度
入札負担金
について
緊急時の周知
について
広域行政
について
おと 本
みち 千
お 雄

問 制度の改正から三年経つが、その効果は。

答 効果は上がっており、現状では大変よい入札制度であると評価しております。

今後とも検証を重ねながら推進してまいります。

問 新型インフルエンザについて、もっと

市民向けの情報提供が必要であったと考える。

今秋にも新型インフルエンザの第二波が来るとの予想もされているが、反省点・改善点はなかったか。

答 この秋以降に想定されます感染拡大に備え、今後策定を予定しています。新型インフルエンザ行動計画の中でよりよい、情報の周知・伝達方法等を研究いたします。

問 広域行政について、市として今後どのような制度問題に軸足を置いた方針を持っているのか。

答 消防救急、医療、観光、教育問題等を広域的に行った方がメリットがあると考えています。

新型インフルエンザ
について
介護職員の待遇
改善について
くすだ 楠田
みち 道雄

問 新型インフルエンザ対策のマスク等の備蓄はどのような状況か。

答 今回の事態により、サージカルマスク(※)

※サージカルマスク：医療用、衛生用マスク



備蓄倉庫（市役所）

三千枚、ゴム手袋二千枚、ゴーグル五十個、消毒用アルコール製剤九十本、感染防止着、N95マスク※、うがい薬、感染性廃棄物の処理容器などを発注しました。

県におけるタミフル備蓄量は、平成二十一年三月末で、約四十八万人分、今後三か年で、タミフル・リレンザを約六十四万人分備蓄する予定です。

また、須崎市から寄贈を受けた抗マスク二百枚は、職務上必要な業務に従事する職員用として備

蓄しています。

問 インフルエンザの障害者等への広報活動は。

答 広報は、四種類のチラシで対応しましたが、視聴覚障害者などの要援護者に対し、的確な対応がとれなかったのは事実です。

今後、災害時要援護者支援マニュアルに基づき、本年十一月までに、要援護者名簿の作成と新型インフルエンザ行動計画を策定し対応したいと思えます。

問 介護職員処遇改善の取り組みは。

答 国の追加経済対策として、平成二十一年度補正予算で介護職員処遇改善交付金が設けられました。

市は直接交付事務に関わりませんが、事業所に対する交付金制度の周知、相談窓口として、対応したいと思えます。

駅前広場について
矢野特定用地について

しばた かつお
柴田 和夫

問 市民の皆さんが、不便を感じているのは、自動車乗降場および雨よけシエルター※です。

答 このため、モニユメントの移設により、それぞれ増設、改修等が可能と考えるのがいかがか。

問 駅前広場整備は、国庫補助事業で施工されているため、現在の形状となっており、このため、全体計画の変更となれば各関係機関との協議が必要となり、多額の費用と期間を要する

こととなりま

す。しかし、今後、厳しい財政状況ですが少しでも市民の皆様の要望にこたえられるよう考えてまいります。

問 新設された雨よけシエルターは、既存の施設と整合しておらず、機能に不具合があると思うがいかがか。

答 既存シエルターとの連結には、多額な費用が生じるため単体で設置しました。

また、単体で設置する場合の基準に合わせたため、現在のような状態となっています。

問 兵庫県は、矢野特定用地の活用は、その利用者が管理主体となる場合は、協力することであるが、これまで、民間活力を活かし、活用する機会はなかったのか。



駅前広場（相生駅）

答 兵庫県の見解では、特定用地の暫定利用については、公共団体が実施主体であり、民間企業等が事業主体となることは、考えられていません。また、実際に民間企業等から活用したいとの照会も受けておりません。

しかし、今後、そのような意向があった場合は、県に民間活用が図られるよう働きかけを行います。

※N95マスク：粒子の侵入を防ぐためのフィルターを用いたマスク
※シエルター：日よけ、雨よけの設備

行財政健全化
について
職員の人事管理
について
教育の危機管理と
モラル(道徳・倫理)
の堅持について
さかぐち まさや
阪口 正哉

問 平成二十三年以降の行財政健全化の取り組みは。

答 行政改革は終わりになき課題であり、引き続き新たな行財政健全化計画の策定が必要です。このため、次期の計画は、平成二十七年までの五年計画とする予定で、収支見通しの予測を行うとともに、全体目標を設定していく事が必要と考えています。

問 本年四月一日付の職員の人事異動について、市長はどのような評価をしていますか。

答 近年では大規模な異動を行いました。時代に即応した効率的な行政運営また、人材育成の見地から適材適所の配置を心がけており、合格点と考えています。

問 モラル(道徳・倫理)などの崩壊を防ぐためにも命の大切さを実感する教育が求められていると考えるがいかが

答 学校では、道徳の時間の指導を始め、全教育活動を通し自他の命の尊さ、自信や夢を持つて生きることの大切さなどを積極的に取りあげて指導しています。

家の空き家
の被害対策
について
ヤマビル
による吸血
被害対策
について
こまぞう
耕盛

問 所有者の居所が不明の空き家による被害防止および損害賠償の方法、また、被害を受けた場合、損害保険の商品があれば、市からボランティア保険のように紹介する方法はないのか。

答 基本的には、私有財産間の問題であるため、行政として対応は困難です。また、保険の紹介についても、個別判断という不確定要素を含んだものの紹介であり、できないものと考えます。

問 所有者の居所が判明している場合、市が、その土地・建物を寄附等により譲り受け、建物を除去した後、土地の

管理を地元と協力を求めるなど事業として考えられないか。

答 危険度の判定、その土地の有効な活用方法、地元における維持管理の継続実施、除去費用の捻出等の問題があり、現時点では実施困難です。

問 今後、危険な空き家対策等として、相生市生活安全条例で規定できないか。また、新たな施策が考えられないか。

答 市のどの条例で対応するのか、また、今後どのような施策が必要なのか検討いたします。

問 里山でのヤマビル(※)被害対策として、ヤマビルが嫌う乾燥した環境を作り出す「昔ながらの落ち葉かき」により、一年で生息数が八割以上減少した実例がある。緊急雇用創出事業などを活用することで、このような対策が図れるか。

答 羅漢の里においては、ふるさと雇用再生基金事業および拡大予定の緊急雇用対策事業の中で実施に向けた検討をします。他地区においては、農地、水、環境保全向上対策事業の活用で集

落活動の一環としての実施を各農家に指導します。

女性特有のがん検診
について
細菌性髄膜炎
について
うしろだ
まさのぶ
信正

問 女性特有のがん検診の効果や必要性などの情報提供を積極的に取り組むべきではないか。

答 広報紙により、各検診の実施案内を掲載するとともに、四月には、個別通知を実施しています。また、本年九月のがん征圧月間に併せ、広報紙に特集記事を載せ、受診率の向上に取り組んでまいります。

問 働く女性が受診しやすい体制を作っていくことが大切と思うが、例えば診療時間外の予約制、日曜日の受診などを実施する考えはないか。

答 市民病院については、調整する余地が多分にあるかと考えていますが、平日以外の検診になりますと、医療関係機関との調整が必要になりますので、検討を要するのではないかと考えます。

問 小児細菌性髄膜炎(※)のワクチン接種「ヒブワクチン」の制度化について。

答 ワクチンは、平成二十年発売開始と併せて国内の接種も開始さ



マンモグラフィ (市民病院)

※ヤマビル：陸に住むヒルで落ち葉の下など湿気の多いところを好む
※小児細菌性髄膜炎：脳の髄膜などに細菌が侵入し、感染することで起こる病気

れました。しかし、ワケチンの供給体制、任意接種に係る健康被害など制度化について多くの課題があります。

今後、国などの動向を見守りながら助成について検討してまいります。

幼児教育・保育
支援について
学校教育について

なべ
わた
しん
じ
治
慎

問

文部科学省の研究
会から示された幼児教育の無償化は、すべての子どもたちが幼児教育を受ける機会を質的に保障することであり、我が国の課題としての重要性、必要性の現れと思つが、市長はいかがお考えか。

答

幼児教育の無償化は、制度として確立され、安定した財源が確保されるのであれば教育振興、少子化対策の観点から有効な手段であると考えます。

問

相生市における自閉症や注意欠陥・多動性障害、あるいは学習障害など発達障害と知られる子どもの現状とその

対策について。

答

発達障害と思われる子どもは、幼・小・中学校で、七十二名であります。現在、こうした子どもたちにきめ細かな対応をしておくため、幼稚園には心身障害児支援補助員、小学校には、低学年学習補助員、スクールアシスタントを配置し支援しております。

今後の対策として、教育・保健・福祉等各関係機関が情報を共有し、幼児期から就学、就労期まで一貫した継続的な支援を行うことが重要であると考えます。

問

相生市における不登校、いじめの現状とその対策について。

答

平成二十年度において、不登校は、小・中学校で十三人、いじめの認知件数は、小・中学校ともなしという状況です。

その対策として、早期に子どもとの話し合い、保護者との連携など、適切な初期対応により、未然に防止するよう努めております。しかしながら、不登校の状態になった場合、密接に子ども、保護者と連絡を取り

合い、必要に応じてスクールカウンセラーと相談しております。

委員会の審査から

民生建設 常任委員会

環境施策のうち、「リサイクルガラスの活用による環境学習について」は、廃材を利用し、吹きガラスやアクセサリー作りの体験学習を行うもので、美化センター内の資源化処理施設に器材等の設置が整い、夏休みには、小学生を対象とした親子体験学習を実施するとの説明を受けました。

次に、「塵芥等の一部委託に関する状況について」は、本年四月一日より市内に営業所を有する許可業者六社で構成された相生環境衛生有限責任事業組合に委託され、運営については順調に業務が遂行されている説明を受けました。



親子体験学習（美化センター）

について現在、検討委員会に審議しており、次の検討委員会で見解を集約し提言書をいただくことになっているとの報告を受けました。

総務文教 常任委員会

行財政健全化について、項目別効果額集計表に基づき、平成二十一年度当初予算額の効果額について説明を受けました。

歳入の項目では、税源移譲による個人住民税の増収見込みが下回ったことにより、計画値より効果が減少した。

歳出の項目では、当初の計画値と比較して効果が減少しているが、計画値と同じ条件設定で予算をみた場合、おおむね計画に沿った組み立てができていたとの説明を受けました。

次に、学校施設の管理運営等については、義務教育に係る意識調査の実施について説明を受けました。調査は、幼・小・中学校の保護者、教職員、就学前児童の保護者、学校園評議員を対象に、合計三千二百七十七名に実施した。調査の目的は、学校の小規模化をはじめとする教育課題に対する考

え方を調査し、学校の適正規模を検討するための基礎資料とするものである。

調査票の回収率は、現時点で八十六・九八%、今後、調査票の集計、分析を行うとの説明を受けました。

委員より、調査は、複式学級の方向性を意識したものの。また、学校の適正配置への考え方に校区によって差があるが、分析に問題はないのかとの質疑があり、複式学級には、メリット・デメリットがあるが調査はどちらかを強調することなく意識調査を実施した。また、小学校区別の分析が可能な設問としているとの説明を受けました。

六月議会で決まったこと

【報告】

◇相生市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について処分の件報告

◇相生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について処分の件報告

【処分の件報告】

・人事院の国家公務員の期末・勤勉手当に関する勧告により法律が改正されたことに伴い、六月に支給する期末手当等の支給率を〇・二か月減額するものです。

◇平成二十一年度相生市老人保健医療特別会計補正予算について処分の件報告

◇相生市土地開発公社の経営状況について
・以上二件の報告を承認、了承しました。

◇相生市立小中学校教育審議会条例の一部を改正する条例
・審議会の委員数、委員構成を改正するものです。

【予算】

◇平成二十一年度相生市一般会計補正予算
・国の第一次補正予算に伴う地域活性化・経済危機対策臨時交付金が交付されたことにより地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現等の事業費について補正を行うものです。

【選挙】

◇安室ダム水道用水供給企業団議会議員について

◇安室ダム水道用水供給企業団議会議員について

◇選挙を行い、吉田政男、角石茂美の各議員が当選されました。

【委員】

◇農業委員会委員について、宮嶋真木、阪口正哉の各議員を推せんしました。

【採択】

◇次期教職員定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の2分の1還元と堅持に関する意見書の提出について

【意見書】

六月議会で次の意見書が可決され、直ちに関係機関へ送付されました。

◇次期教職員定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の2分の1還元と堅持に関する意見書



議会活動状況

- <6月>
 - 9日 定例会市議会 開会
 - 10日 議会報第93号発行
定例会市議会 再開
 - 11日 民生建設常任委員会
 - 15日 総務文教常任委員会
 - 18日 定例会市議会 閉会
- <7月>
 - 7日 西播磨市町議長会 (姫路市)
 - 9~10日 議会運営委員会行政調査 (埼玉県鶴ヶ島市)
 - 16~17日 播但市議会議長会行政視察 (福島県会津若松市)
 - 22日 議会報編集委員会
 - 23日 兵庫県市議会議長会 (宍粟市)
- <8月>
 - 19日 兵庫県西・北部豪雨災害救援ボランティア (佐用町)
 - 26日 民生建設常任委員会
 - 27日 総務文教常任委員会
- <9月>
 - 1日 議会運営委員会
 - 8日 定例会市議会 開会
 - 9日 定例会市議会 再開

平成21年度支出内訳 (4月1日~6月30日)

区	分	件	数	金額 (円)
慶	弔	費	0	0
渉	外	賄	2	8,360
そ	の	他	2	7,800
合		計	4	16,160

※ 詳しくは、市議会ホームページ(※)をご覧ください。

議長交際費の執行状況について

相生市議会では、開かれた市議会をめざして、議長交際費の執行状況を公開いたします。

編集後記

兵庫県西・北部豪雨により被害を受けました被災地の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。相生市議会として、各議員が災害救援ボランティアに参加しました。支援の輪が広がり、一日も早い復興を願っております。

